



NTT 情報労連「未来の森づくり」活動 5月16日(土)：広島市森林公園

NTT 情報労連組織の社員ご家族、総勢 148 名がご参加！今年で7回目となる森林整備活動が開催され、当倶楽部から 15 名が安全監視及び整備指導のために指導員として協力させて頂きました。

整備は、春の女神「ギフチョウが飛来する未来の森づくり」をテーマに、12 班編成で 2 つのグループに分かれて作業を行いました。1～4 班はギフチョウの食草となるサンヨウアオイの植栽と、ギフチョウが蜜を取るコバノミツバツツジ周辺の支障木の伐採。残る 5 班～12 班は、コバノミツバツツジを保護するために支障となる周辺木を伐採し、鬱蒼とした暗いイメージの森を、明るい日の差し込む森に

しようと力を出し合って、爽やかな汗を流して頂きました。参加者には、NTT の OB の方も多数参加され、互に元気なお姿を拝見し話も弾み、「気を付けんさい」よと言葉を交わしつつ楽しく笑顔で作業されておられました。短い時間でしたが明るさを取り戻した整備エリアを見て、皆さん、達成感を感じ取っておられた事と思います。

【 5～12 班指導：富田 実 】



作業場所までの山歩き、道中には鹿のツノ研ぎ跡や大きなアカマツを伐採した切り株、サカキやシキミなどの景色を見ながら、山や樹木の話で盛り上がる。現場では見勢井顧問が全体に向けサンヨウアオイの植栽や、この辺りのコバノミツバツツジの状況、鹿による獣害について話をされ、いよいよ作業開始。ヘルメットとノコギリを装備した小さな林業家たちは、思い思いの場所で雑木たちを

前に「これは倒してもいい木かな？」「どっちに倒せばいいんだろう」が、ひと引きノコを入れてしまえば集中して自分なりに考え作業に没頭。切り倒したサカキの樹皮にはたくさん水分。幹の手触りに感動！次にサンヨウアオイの植え付けを二か所に分かれて行う。前に植えてあるものを踏まない様にゆっくり足を運びながら落ち葉を手でかきわけ隙間を見つけてスコップを立てる。「ここはかた

いね」「ここはやわらかい」。この広い山の中で、初めて一株のサンヨウアオイを植えこむ子ども達の姿は尊く、いつかたくさんギフチョウ達が、この場所で踊るように飛ぶ姿を想像する。約 1 時間という短い時間ではありましたが、未来を紡ぐかけがえのない時を子ども達と一緒に過ごせたことに感謝。これからもかけがえのない森林と向き合っていきたいです。

【 1～4 班指導：吉村隆文 】



オリエンテーション。奥に倶楽部員勢ぞろい



木を伐り、明るい森に。



見勢井顧問からサンヨウアオイについて聞く